

No.	009	—	3001	事務事業名	救急医療対策事業				細事務事業名	東温市在宅当番医制事業ほか				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	----------	--	--	--	--------	---------------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	健康推進課		係名	食育推進係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	全部委託		実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし		
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進				主要施策	(8)地域医療体制の充実				
事業の対象	市民							根拠法令							
事業の目的	最終的	軽症患者に対応する初期救急の実施、重症患者に対応する二次救急への支援をすることで、松山医療圏の救急医療体制を維持します。					今年度	市民が安心して暮らせるため、初期救急及び二次救急医療体制を確保します。							
活動内容	①	初期救急:東温市医師会に委託することで、東温地区の医療機関が輪番で休日、祝日及び年末年始の日中(9:00～17:00)診察をします。					④								
	②	初期救急:松山市急患医療センターの運営費を負担することで、夜間の診察体制を確保します。					⑤								
	③	二次救急:松山医療圏輪番制に参加する医療機関に補助することで、運営負担を軽減し救急医療体制を維持します。													
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
	東温市在宅当番医制事業実施日数			休日等の日数に対する事業実施日数			日	目標	71	71	71				
								実績	71	71					
								目標							
								実績							
								目標							
実績															

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
直接事業費		平成 24 年度決算			平成 25 年度決算			平成 26 年度予算			備考		
	国・県支出金	0 千円			0 千円			0 千円					
	地方債	0 千円			0 千円			0 千円					
	その他特定財源	0 千円			0 千円			0 千円					
	一般財源	14,326 千円			13,451 千円			15,784 千円					
	計(A)	14,326 千円			13,451 千円			15,784 千円					
人件費(B)	正職員工数・経費	0.006 人	36 千円	0.008 人	49 千円	0.008 人	48 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		14,362 千円			13,500 千円			15,832 千円					

CHECK・ACTION

一次評価者	食育推進係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	救急医療体制の確保は市民の生命に直結するため、安心して生活するうえで必要不可欠なものです。												
有効性	軽症患者を初期救急が対応し、二次救急の負担が軽減されることで、松山医療圏の救急医療体制の維持に繋がります。												
達成度	医師不足などの問題が現れていますが、現状で必要とされる救急医療体制は維持できています。												
効率性	直営で救急医療機関を設置した場合、莫大な導入経費と維持経費が必要となるため、民間委託及び負担金補助としたほうがコスト面で有利です。												
当面の課題	比較的恵まれている松山医療圏ですが、医師不足などの不安要素も現れており、中予3市3町で効果的な対策を検討する必要があります。												
改計画	医師会との連絡を密にし、適切な運用を検討していきます。また、市民に対して適切な救急医療の利用を広報啓発していく必要があります。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項		多様な地域医療ニーズに対し、医師不足など救急医療環境が悪化する中、地域医療体制の安定確保のため、市内医師会はもとより、松山医療圏域における広域的な救急医療体制の維持が不可決であり、その運営等のための財政的支援を引き続き行う必要があります。											

No.	009	—	3003	事務事業名	危機管理関係事業				細事務事業名	災害時保健活動マニュアル作成等事務				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	----------	--	--	--	--------	-------------------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	健康推進課		係名	食育推進係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし		
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	6 消防・防災体制の充実				主要施策	(1)危機管理部門の充実				
事業の対象	市民						根拠法令								
事業の目的	最終的	東温市の地域に係る災害時保健活動について定め、これを推進することにより、住民の生命、身体を災害から保護し、快適で安全・安心な暮らしが実感できる、質の高い居住環境づくりを進めます。					今年度	災害時保健活動マニュアル作成にむけた調査研究を継続して行います。							
活動内容	①	東温市地域防災計画に基づき、松山圏域医療対策協議会の検討事項等を連動させるよう、周辺市町の計画等の収集を行います。					④								
	②	災害時における保健活動マニュアルの作成に向けた資料等の収集を行います。					⑤								
	③														
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標			
				業務の性質上、指標設定になじまない				目標							
								実績							
								目標							
								実績							
								目標							

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
直接事業費		平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考					
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
	一般財源	0 千円		0 千円		0 千円							
	計(A)	0 千円		0 千円		0 千円							
人件費(B)	正職員工数・経費	0.007 人	42 千円	0.015 人	91 千円	0.004 人	24 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		42 千円		91 千円		24 千円							

CHECK・ACTION

一次評価者	食育推進係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市が実施主体となって行なうべき重要課題です。												
有効性	類似施策はなく、地域防災計画との整合性を踏まえた事業の継続は不可避です。												
達成度	国、県の上位計画との整合性をもった東温市地域防災計画により災害時保健活動マニュアルも策定すべきものと考えます。												
効率性	計画策定は低コストで作成可能であり、コスト削減は不要です。												
当面の課題	東温市地域防災計画に併せた、具体的な行動マニュアル整備のための、他部署とのすり合わせ等ができておりません。												
改計画	県下他市町のマニュアルを収集し、危機管理における保健分野の役割を検討します。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項		南海トラフ巨大地震など大規模災害に備えた地域防災体制の充実強化が求められている中、東温市地域防災計画に位置づけられています医療救護対策に基づき、より実効性のある防災体制を構築するためには、東温市の地域特性を踏まえた医療救護活動マニュアルの作成が望まれ、早期に整備しておく必要があります。											

No.	009	—	3004	事務事業名	医師歯科医師等連絡調整事務				細事務事業名	東温市医師歯科医師連絡会ほか				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	---------------	--	--	--	--------	----------------	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	健康推進課		係 名	食育推進係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	(1)保健事業推進体制の充実			
	事業の対象	東温市医師会、東温市歯科医師会、愛媛大学医学部附属病院						根拠法令						
	事業の目的	最終的	東温市医師会、東温市歯科医師会、愛媛大学医学部附属病院等との連携強化を図り、市民の健康づくりについて共同実施を図る					今年度	地域自殺対策緊急強化事業を絡めた「東温市健康フォーラム2013」を開催し、市民への情報発信や啓発を図ります。					
	活動内容	①	年1回、東温市医師会、東温市歯科医師会会員の先生と市関係部署が当年度の事業報告と新年度事業に関して協議を行います。					④						
		②	年1回、東温市医師会、東温市歯科医師会、愛媛大学医学部附属病院と共催で健康フォーラムを開催します。					⑤						
		③												
	成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標	
		健康フォーラム参加人数			—			人	目標	250	250	300		
実績									230	200				
							目標							
							実績							
							目標							
							実績							

D O O	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
	直接事業費		平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備 考				
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	170 千円		91 千円		1,492 千円						
		計(A)	170 千円		91 千円		1,492 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.274 人	1,657 千円	0.054 人	329 千円	0.050 人	301 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		1,827 千円		420 千円		1,793 千円						

C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	食育推進係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
	項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）													
	必要性	行政の役割が増大する中、市と医師会、歯科医師会との連絡会であり必要であると考えます。													
	有効性	事業を継続していく中で、関係機関同士、顔の見える関係性が構築され、それぞれの立場から市民への貢献度は高まると考えます。													
	達成度	連絡会では、実績や新規事業を報告し、協力の依頼を行っています。 健康フォーラムでは、開催に向けた実行委員会を数回行い共通した意識で臨むよう努めています。													
	効率性	健康フォーラムに関しては、補助金を活用した事業展開も含め、関係機関の人材等を活かしたものです。													
	当面の課題	高度化、多様化する医療ニーズに対応するため、保健・医療・福祉が一体となった幅広いサービスが継続して求められます。													
	改 革 画 計	県下に類をみない恵まれた医療環境を活かし、市民にとって有益な体制づくりのため、今後も連携強化に努めます。。													
	二次評価者	健康推進課長		総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項		本格的な少子高齢社会を迎え、保健・福祉・介護・医療等ニーズは益々増大多様化しており、東温市の恵まれた医療福祉環境を最大限活用した行政サービスが提供できる体制づくりが期待されております。引続き、市内医師会・歯科医師会をはじめ愛媛医療センター、愛媛大学医学部等との連携を深め、市民がより安心して暮らせる医療と健康のまちづくりに向けた施策の展開が望まれます。 また、医師等の主導で毎年開催しています健康フォーラムは、市民との交流の場でもあり、今後も親しみやすいイベントとして継続実施が望まれます。												

No.	009	—	3005	事務事業名	保健事業推進事務			細事務事業名	衛生委員関係等事務			公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	----------	--	--	--------	-----------	--	--	------	---

PLAN

課名	健康推進課		係名	食育推進係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp			
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし
総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	(1)保健事業推進体制の充実			
事業の対象	自治区長から推薦を受けた者を市長が委嘱した東温市衛生委員(73名)						根拠法令						
事業の目的	最終的	地球と共生する快適環境のまちづくり及びみんなが元気になる健康福祉のまちづくりを推進に努めていただくための事務事業を行います。					今年度						
活動内容	①	年度末に自治区長さんへ翌年度の衛生委員推薦依頼を行い、推薦いただいた方に市長が委嘱を行う事務事業を行います。					④	年度末に、報償費の支払事務を行います。					
	②	年1回以上の研修会を開催し、健康づくりに関する情報提供及び意見交換等を行います。					⑤						
	③	年間を通じ、市が行う各種健診、診察相談等の会場での案内、誘導を依頼します。											
成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標	
				業務の性質上、指標設定になじまない				目標					
								実績					
								目標					
								実績					
								目標					
							実績						

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
直接事業費		平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考				
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円						
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	2,304 千円		2,269 千円		2,303 千円						
	計(A)	2,304 千円		2,269 千円		2,303 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.063 人	381 千円	0.032 人	195 千円	0.030 人	180 千円					
	臨時職員工数・経費	0.009 人	17 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		2,702 千円		2,464 千円		2,483 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	食育推進係	総合評価点	C	必要性	2	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市が何らかの形で実施する必要はありますが、個人情報扱う事業としては、今後、手段の検討が必要となる時期がくと思われます。												
有効性	衛生委員さんを通じ、各健診や健康講座等の周知をお願いすることで、地区内のみなさんにも市の事業をより身近に感じていただきたいと思います。												
達成度	現在の方法としては、目標達成しています。												
効率性	他の方法で住民を巻き込んだ体制づくりができれば、現状が適正とは思えませんが、市全体を網羅する新たな体制づくりは困難と思われます。												
当面の課題	区長推薦で委嘱をしていますが、任期が1年間であり、事業内容が十分理解いただかないまま、任期を終えられてしまうため、役割の周知が課題と考えます。 仕事の関係で、平日の協力依頼が困難な事例があります。												
改計画	協力依頼内容等を精査し、衛生委員として地域とのパイプ役となっていただくことと合わせ、自身や家族の健康づくりのきっかけとなるよう計画します。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項		衛生委員は、市民の健康づくりの推進役として、化集団健診事業に関する協力支援や普及啓発活動、環境衛生活動等に努めていただくほか、地域内での自主的な保健衛生活動にも従事していただいておりますが、地域により活動内容や形態等が異なっている現状にあります。 今後は、他市町との取組みも参考にしながら、衛生委員の任期や役割機能、活動費等を検証し、改善見直しに向けた検討も必要であります。											

No.	009	—	3006	事務事業名	健康増進計画推進事業				細事務事業名	健康増進計画推進事業				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	------------	--	--	--	--------	------------	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	健康推進課		係 名	健康栄養係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第2章 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	(1)保健事業推進体制の充実				
	事業の対象	全市民							根拠法令	健康増進法					
	事業の目的	最終的	生涯にわたり、いきいきとした健康的な生活が営めるまちづくりに努めます。					今年度	1次計画の評価を取りまとめ、2次計画を策定します。						
	活動内容	①	関係組織、機関の代表者で組織する「健康づくり推進協議会」を開催し、第2次健康増進計画を策定に関して関係団体の意見を取りまとめ、計画内容に反映させます。					④							
		②	作業部会として組織する「老成人保健推進部会」、「母子保健推進部会」で2次計画関する検討をします。					⑤							
		③	現計画評価、2次計画策定作業を行います。												
	成果指標	指標名			計算式又は指標設定理由			単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標		
		健康づくり推進協議会、部会開催回数			計画の評価、課題の取りまとめ、2次計画内容について検討するため機会をもつため			回	目標	6	7	6			
実績									6	7					
							目標								
							実績								
							目標								
							実績								

D O	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
	直接事業費		平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備 考				
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円		平成25年度決算額については、健康づくり推進協議会の報酬と第2次健康増進計画策定業務の委託料が含まれているが、当該計画策定業務は第2次食育推進計画策定業務と契約を一本化しており、委託料の按分が不可であるため、合計金額を入力している。				
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源	213 千円		4,102 千円		412 千円						
		計(A)	213 千円		4,102 千円		412 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.238 人	1,440 千円	0.300 人	1,828 千円	0.238 人	1,431 千円					
		臨時職員工数・経費	0.025 人	47 千円	0.000 人	0 千円	0.025 人	49 千円					
全体事業費(A+B)		1,700 千円		5,930 千円		1,892 千円							

C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	健康栄養係	総 合 評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
	項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）												
	必要性	市民の健康づくりは、行政以外の関係機関との連携が欠かせないため、1次計画の評価、課題及び2次計画の策定に関して情報を共有することが必要です。												
	有効性	関係機関での取り組みに関して情報交換し、連携を深めていくことでより、効果的な計画の推進が見込めます。												
	達成度	各機関が持っている課題や意見は、共有し、課題解決に努めるよう連携をしています。												
	効率性	計画の効果的な推進、評価について関係機関の意見が反映できています。												
	当面の課題	計画の推進のためには、更なる情報や課題を共有し事業を展開する必要があります。												
	改 革 画	計画策定の際に重点項目とした内容を中心に、市の取組み状況を報告し、関係機関の協力を求めます。												
	二次評価者	健康推進課長	総 合 評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項		これまでの第1次計画の推進状況や健康診査等事業成果に基づく評価・分析・課題の抽出等を踏まえ、東温市の地域特性を照らして第2次計画の策定に反映させる必要があります。 また、第2次計画の推進に当たっては、より実効性のある施策に展開に向けた計画の位置づけを市民に分かりやすく周知啓発できるような工夫が望まれます。												

No.	009	—	3008	事務事業名	食育推進業務				細事務事業名	食育推進業務				公的関与	1
-----	-----	---	------	-------	--------	--	--	--	--------	--------	--	--	--	------	---

PLAN

課名	健康推進課		係名	食育推進係		電話番号	089-966-2191		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.ehime.jp					
事業区分	ソフト事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	期間設定なし		
総合計画	政策目標	第4章 創造性と活力に満ちた元気産業のまち			政策項目	1 農業の振興				主要施策	(8)「食育」の推進				
事業の対象	市民、地域、職場、学校、生産者、事業者及び行政等						根拠法令	食育基本法							
事業の目的	最終的	東温市の食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進する上で必要な事項について継続して検討します。				今年度	食育推進計画に基づく各種施策の実施状況の確認、委員からの意見を関係部署に繋げるよう努めます。								
活動内容	①	食育推進会議を必要に応じて開催します。				④									
	②	食育推進会議で、各部署が取り組んでいる食育事業の内容や実施方法等について、関係団体代表者等と意見交換を行います。				⑤									
	③														
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	最終目標				
	会議開催回数		開催（予定）回数			回	目標	2	4	3					
							実績	2	3						
							目標								
							実績								
							目標								
実績															

DO

予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費	
直接事業費		平成 24 年度決算		平成 25 年度決算		平成 26 年度予算		備考				
	国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円		平成25年度決算額については、食育推進会議の報酬及び派遣手数料と、第2次食育推進計画策定業務の委託料が含まれているが、当該計画策定業務は第2次健康増進計画策定業務と契約を一本化しており、委託料の按分が不可であるため、合計金額を入力している。				
	地方債	0 千円		0 千円		0 千円						
	その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円						
	一般財源	92 千円		3,882 千円		216 千円						
	計(A)	92 千円		3,882 千円		216 千円						
人件費(B)	正職員工数・経費	0.213 人	1,288 千円	0.524 人	3,193 千円	0.213 人	1,281 千円					
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		1,380 千円		7,075 千円		1,497 千円						

CHECK・ACTION

一次評価者	食育推進係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市の食育事業は多方面にわたるため、意見等をいただき、調整等を行うため、市が行う必要性があります。												
有効性	多方面の方々から意見等をいただき、市の食育事業に取り入れることで、その効率や効果の向上が期待できます。												
達成度	会議の意見は可能な限り食育事業に反映するようにしています。												
効率性	食育事業を効率よく、かつ、効果的に進めていくことを目的に実施していますので、その効果が期待できます。												
当面の課題	会議を開催することが目的になりつつあり、実践的な取組を導入していく必要があります。												
改 革 計 画	食育事業は各課が並行して独自に実施しているものが多く、効率的・効果的に実施するために各課と連携するとともに、市内の食育に関する各種団体との連携体制をとれるよう検討していきます。												
二次評価者	健康推進課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項		食育の推進に当たっては、食の安全・安心の確保や地産地消の促進、食生活の改善、食文化の継承、食品衛生の推進など、多種多様な取組みが期待されており、また、家庭や地域、職場、学校、行政等が一体となって連携して取り組むことが効果的であり、重要であります。 今後の推進においては、周知から実践重視へ転換し、より実効性ある施策の展開が図れる体制づくりが望まれます。											